

# 新エネルギーが北海道を走る

**9/16金** 新エネルギーフォーラム  
 会場/ 稚内総合文化センター (大ホール)  
 稚内市中央3丁目13-23

**14:00** 開場  
**14:30** 基調講演  
 「これからの北海道のあり方について」  
 ~地域づくりに向けた私の私見~  
 講師 ケンジ・ステファン・スズキ氏  
**16:00** パネルディスカッション  
 「未来の地域づくりに向けて」  
 パネラー ケンジ・ステファン・スズキ氏 (S.R.A代表)  
 柏木孝夫氏 (東京農工大学大学院 教授)  
 長谷川伸一氏 (稚内新エネルギー研究会会長)  
 コーディネーター 横田耕一氏 (稚内市長)  
**17:30** 終了

**入場無料**



□ケンジ・ステファン・スズキ氏  
 1944年当手島生まれ、1967年にコペンハーゲン大学へ留学。日本人大使館勤務などを経て、1990年に日本企業と現地企業の橋渡しをする為のS.R.A.デンマーク社を創業。1997年にはデンマークが導入している環境保全対策について、その背景から具体的政策の導入例として風力発電、バイオガス発電、廃棄物の利用について学ぶ「風のがっこう」を設立。



□柏木孝夫氏  
 1946年東京生まれ。1970年東京工業大学工学部卒業。1979年に博士号取得。2005年より国立大学法人東京農工大学幹事・附属図書館長、経済産業省の総会資源エネルギー開発委員会新エネルギー一部会長ほか、各種審議会委員。著書に「地球からの贈り物」等多数。

**日本に貢献できる地域づくりの一端として。**  
 北海道には広大な自然とその恩恵があります。しかし、地域ごとに見ると、それぞれの土地の潜在力を活かしていきれていないのが現状です。当事業は、北海道の可能性を具現化した新エネルギー機器をもとに、もう一度大自然の恩恵を、知り、考え、見つめ直す契機になると考えています。これからの北海道を考えるまたとない機会です。皆さま是非ご参加下さい。

## 燃料電池車が道北縦断！ 試乗会実施！

9月15日 9:30~ 北海道庁前キャパバン出発式  
 9月15日 11:00~ 岩見沢市役所  
 9月15日 14:40~ ハワズボ留萌  
 9月15日 17:45~ 上川支庁合同庁舎  
 9月16日 16:20~ 稚内北防波堤ドーム  
**HONDA 燃料電池車FCX**



**新エネルギーパネル展開催**  
 稚内総合文化センター  
 留萌支庁合同庁舎  
 上川支庁合同庁舎  
 JRF岩見沢駅前市民広場  
**「イベントホール赤レンガ」**

9/14水 ▶ 9/16金  
 9/15木 ▶ 9/22木  
 9/16金 ▶ 9/20火

■主催/ 宗谷建設青年会  
 ■共催/ 国土交通省北海道開発局 北海道 独立行政法人 北海道開発土木研究所 稚内新エネルギー研究会  
 ■後援/ 経済産業省北海道経済産業局 独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 財団法人 北海道科学技術総合振興センター  
 稚内市 旭川市 留萌市 岩見沢市 北海道建青会  
 ■お問い合わせ/ 北海道建青会事務局 〒097-0001 稚内市末広4丁目4-2 (稚内建設協会内) ☎0162-33-5364

北海道新聞 9月14日付



燃料電池車 試乗できます

【推定】燃料電池や風力などの新エネルギーの普及を促す「新エネルギーキャラバンin北海道」(宗谷建設青年会主催)が十五、十六の両日、市内各中心に開かれる。土日は、ホウの燃料電池車(FCV)が推定で初披露され、試乗会が行われる。(山田正樹)

FCVは四人乗りで、燃料電池車は約三百三十キロ。道は進行方向に走り、燃料の消費量は約五リットル。燃料の水素を供給するトラックと一緒に走る。道に納められたホウの燃料電池車(FCV)は、道庁管内の各庁舎

FCVは四人乗りで、燃料電池車は約三百三十キロ。道は進行方向に走り、燃料の消費量は約五リットル。燃料の水素を供給するトラックと一緒に走る。道に納められたホウの燃料電池車(FCV)は、道庁管内の各庁舎

FCVの説明・試乗会は午後四時二十分ごろから、先着三十人先着の順番に試乗する。市内の主要な道路を走り、周辺の道路を約一時間、意のままに走る。FCVは四人乗りで、燃料電池車は約三百三十キロ。道は進行方向に走り、燃料の消費量は約五リットル。燃料の水素を供給するトラックと一緒に走る。道に納められたホウの燃料電池車(FCV)は、道庁管内の各庁舎

北海道建設新聞 9月16日付



新エネルギーキャラバン in 北海道

燃料電池車、道庁前を出発 宗谷建設青年会

燃料電池車(FCV)が、道庁前で出発した。宗谷建設青年会主催の新エネルギーキャラバンin北海道の試乗会が行われ、道庁前で出発した。宗谷建設青年会主催の新エネルギーキャラバンin北海道の試乗会が行われ、道庁前で出発した。

北海道新聞 9月16日付



燃料電池車、道庁前を出発 宗谷建設青年会

燃料電池車(FCV)が、道庁前で出発した。宗谷建設青年会主催の新エネルギーキャラバンin北海道の試乗会が行われ、道庁前で出発した。

北海道通信 9月16日付



新エネルギー普及へ 宗谷建設青年会、燃料電池車で500km総所

【宗谷】燃料電池車(FCV)が、道庁前で出発した。宗谷建設青年会主催の新エネルギーキャラバンin北海道の試乗会が行われ、道庁前で出発した。

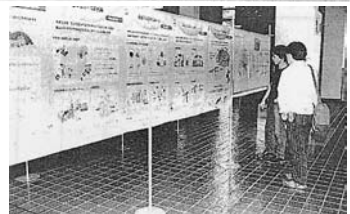
日刊宗谷 9月16日付

北海道建設青年会全道大会 地域ビジョン創造

最北稚内から発信

新エネ可能性など討議

道庁建設課の次代を担う北海道建設青年会が、宗谷建設青年会が主催する「新エネルギーキャラバンin北海道」の試乗会が行われ、道庁前で出発した。

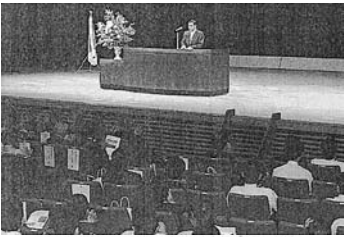


14日から稚内総合文化センターで開いている新エネルギーパネル展

### 個性的な地域づくりを

#### 第20回北海道建青会全道会員大会

【札幌】「個性ある地域づくり」をテーマに掲げた第20回北海道建設青年会（建青会）全道大会が、16日（土）から17日（日）まで、札幌市東区南一条の札幌市立大ホールで開かれた。大会は、道庁建設部、道建設委員会、道建設審議会、道建設審議委員会の主催で、道建設青年会（会長 藤田博樹）が中心となり、道内各地から約200人が参加した。大会の目的は、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。



道内各地から約200人が参加した全道会員大会

道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。

大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。

### 燃料電池車で循環型社会を 新エネキャラバン開く



「環境と循環型社会」をテーマに、道建設青年会が主催する「新エネキャラバン」が、16日（土）から17日（日）まで、札幌市東区南一条の札幌市立大ホールで開かれた。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。

大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。

大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。

### 燃料電池車の良さ体感

#### 萌志会と宗建会が試乗会 静かな走りど力強い発進



【留萌】「環境と循環型社会」をテーマに、道建設青年会が主催する「新エネキャラバン」が、16日（土）から17日（日）まで、札幌市東区南一条の札幌市立大ホールで開かれた。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。

大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。

### 個性ある地域づくりへ

#### 400人が一層の飛躍を 道建青会が道内で全道大会

【札幌】「個性ある地域づくり」をテーマに掲げた第20回北海道建設青年会（建青会）全道大会が、16日（土）から17日（日）まで、札幌市東区南一条の札幌市立大ホールで開かれた。大会は、道庁建設部、道建設委員会、道建設審議会、道建設審議委員会の主催で、道建設青年会（会長 藤田博樹）が中心となり、道内各地から約200人が参加した。大会の目的は、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。



道内各地から約200人が参加した全道会員大会

大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。

大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。大会では、道建設青年会が中心となり、道内各地の個性ある地域づくりを推進し、道民生活の向上を図ることにある。

北海道建設青年会全道大会

地域の将来像探る



「未来の地域づくりに向けて」をテーマにしたパネルディスカッション

建設の次世代担手として、北海道建設青年会は、北海道各地で開催された全道大会の模様を、このように紹介している。



お披露目された燃料電池車

日刊宗谷 9月17日付

食、エネルギー、自然環境 燃料電池車も登場

基調講演やフォーラム

地域づくり推進への挑戦。テーマにした、北海道建設青年会「第20回北海道全道大会」は16日、稚内総合文化センター大ホールで開かれ、建設業の分野を軸に、北海道の未来像を探る。...

北海道新聞 9月17日付

静かなエンジンと滑らかな加速感。燃料電池車の試乗会。FCVの構造を説明する。...



フォーラムで、市民らが約三分間の試乗を体験した。市内の主婦倉橋子さんが「エンジン音がたたくか、気が付かないくらい加速している」と感じた。

北海道通信 9月18日付

第20回北海道建設青年会全道大会

【稚内】地域づくり推進への挑戦。テーマにした、北海道建設青年会「第20回北海道全道大会」は16日、稚内総合文化センター大ホールで開かれ、建設業の分野を軸に、北海道の未来像を探る。...

未来の水素社会を議論

パネルディスカッション

「未来の水素社会」をテーマにしたパネルディスカッション。市が長官のシシタ、極め、水素社会実現を目指す。...



「未来の水素社会」をテーマにしたパネルディスカッション。市が長官のシシタ、極め、水素社会実現を目指す。...

様々な環境問題を提起

パネル展



千の仔が、約五五五の市内北防衛道に到着し、燃料電池車を試乗した。会場を訪れた観客は、燃料電池車を試乗し、環境問題を提起した。...



新たなエネルギーをPR。燃料電池車展示。会場では、新たなエネルギーをPRし、環境問題を提起した。...